

日野川水系大規模氾濫時のタイムライン検討会（準備会）議事概要

日時：平成 29 年 8 月 4 日 10:00～11:30

場所：鳥取県西部総合事務所（2F）講堂

【出席者】

- ・出席者名簿参照

【議事概要】

1. 日野川河川事務所 岩田副所長挨拶

日野川 TL の検討にあたり 3 点紹介。

- ① 近年の災害の紹介
 - ② 近年の災害を踏まえ、水防災再構築ビジョンが必要となりできた。
 - ③ あとは、タイムラインが必要。地域に根づくために活発な意見交換をしたい。
- ・ TL ができたら台風時に検証、逃げ遅れゼロを目指したい。

2. 自己紹介

- ・出席者全員で順番に所属と氏名を自己紹介

3. 検討会要綱説明（大元事業対策官）

- ・要綱の読み上げ

4. 座長挨拶（鳥取大学：黒岩教授）

- ・近年、気候変動による影響で水害への対応が喫緊の課題。
- ・いかに適切な避難をするかが重要。（北九州や岩手県の被災事例を踏まえるとソフト面の課題が出てきている）

5. タイムライン検討会について説明（大元事業対策官）

- ・説明資料に基づき説明

<副所長補足>

- ・配布資料 P.17：減災対策のハード対策として、従来の堤防等整備と危機管理型ハード対策（鬼怒川で舗装部は破堤しなかった事例を踏まえた整備）
- ・配布資料 P.25：下半期の検討会予定は、今後の状況応じて変わる可能性がある。

6. 日野川水系河川概要（山本係長）

- ・説明資料に基づき説明

7. 近年の気象について（鳥取地方気象台）

- ・説明資料に基づき説明

8. 質疑応答

質問等	当日の事務局回答
<p>■鳥取県警</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野川の樋門はいくつあるのか。 ・操作は誰の判断でどのように操作しているのか。 ・緊急時に操作員がいない場合の対策はどのようにしているのか。 	<p>■日野川課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設数は具体的な施設数はこの場では不明であるが30基程度である。 ・日野川水位が高くなると閉めている。 ・日野川河川から市町村へ委託し、市町村から委嘱している一般の方が操作している。 ・台風等で操作が必要な場合は、事前連絡し操作をしてもらうようにしてもらっている。 <p>■日野川副所長補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樋門は、排水と取水の2種あり、排水樋門は先ほどの説明とおおり。取水樋門は、取水者が操作している。
<p>■黒岩教授</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の被害要因となっている線状降水帯は増えてくるのか。 ・タイムラインは台風が発生し、段階に応じた対応を検討することとなるが、このような局所的な豪雨についてもタイムラインに含めるものとして、プラスアルファとして各地域でどのように避難させるかを、日野川をモデルケースとして一通り作り上げていければよい。 	<p>■气象台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内でも過去にあったと思われるが、今後もどこでも発生する可能性がある。
<p>■中国電力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討対象範囲は、直轄区間に影響する範囲と考えてよいか。 	<p>■日野川課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直轄区間を対象とする。

9. その他（大元事業対策官）

- ・説明資料に基づき説明

<副所長補足>

- ・すでに事務所内の行動に関する TL は作成済みであるが、今後検討する多機関連携 TL とは異なる。

— 以 上 —